

# 教育委員会会議録（6月定例会）

日 時

平成27年6月30日（火）  
午後3時00分から午後4時55分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	森嶋 鎮一郎
委員長職務代行者	上村 由美
委員	花田 和郎
委員	伊藤 吾子
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

総務課長	窪田 康德
学校施設課長	関根 博之
学務課長	内山 信弘
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	佐川 勝宣
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	川崎 恭子
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長(兼)視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	大沢 靖司
宮田調理場長	川崎 浩行
総務課課長補佐(兼)庶務係長	中村 大介
総務課計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長(企画員)	松永 朗
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

## 議 事

### 1 報 告

報告第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

### 2 議 案

議案第 27 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

議案第 28 号 日立市社会教育委員の委嘱について

### 3 その他

- (1) 平成 27 年第 2 回市議会定例会について
- (2) 第 6 次行財政改革の推進状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）について
- (3) 日立市公共施設マネジメント基本方針（分野別編）について
- (4) 平成 26 年度審議会等の開催状況について
- (5) 夏季休業期間中の教育委員会等行事について
- (6) 学校施設整備事業について
- (7) 第 58 回桐生市臨海子ども会について
- (8) 学校プール開放事業について
- (9) 第 86 回都市対抗野球大会について
- (10) 夏季休業期間中の学力支援について
- (11) 寄附（絵画）の受入れについて
- (12) 児童生徒の表彰等について
- (13) 平成 27 年度学校給食夏休み親子見学会について
- (14) その他
- (15) 次回の教育委員会の日程について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から6月の教育委員会定例会を開催します。  
本日は、傍聴希望者が3名おります。  
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

## 2 報 告

報 告 第 6 号

教育委員会5月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第6号について御意見を伺います。  
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

## 3 議 事

議 案 第 2 7 号

日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

委 員 長

それでは次に議事に移ります。  
議案第27号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長

日立市立小中学校学区審議会委員は、平成27年6月30日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものです。

任期は、平成27年7月1日から平成29年6月30日までの2年間となります。

委員20名のうち、11名の方が新任となります。

委 員

新任となったのは、どのような方々ですか。

**学務課長** 日立市立小中学校学区審議会条例において、特定の地位又はその職により委嘱された委員は、当該地位又はその職にある期間中が、委員としての任期とされています。

今回は、例えば、日立市学校長会の会長が改選されたことに伴い新たに委員として委嘱するなど、役員の変更等に伴う委嘱となります。

(本件については原案どおり可決されました。)

**議案第28号 日立市社会教育委員の委嘱について**

**委員長** 次に、議案第28号について、生涯学習課長から説明をお願いします。

**生涯学習課長** 日立市社会教育委員に欠員が生じたので、新たに委員を委嘱するものです。

任期は、前任者の残任期間である平成27年6月30日から平成28年6月30日までです。

新たに1名の委員を委嘱します。

(本件については原案どおり可決されました。)

**4 その他**

(1) 平成27年第2回市議会定例会について

**委員長** 続きまして、その他に移らせていただきます。  
その他(1)について、教育長から説明をお願いします。

**教育長** 平成27年第2回市議会定例会について、報告します。  
4月の市議会議員改選、そして、新たな市長が就任されてから、初めての市議会定例会となります。

会期は、6月10日、水曜日から26日、金曜日までです。

まず、代表質問についてです。

民主クラブの大庭議員から、地方創生(地方版総合戦略)に関して、日立市の未来と人口減少問題への対応についての質問の中で、定住促進と安住安定の施策についてということで、日立市らしい特色ある教育の振興と定住促進に関わる総合戦略について、質問があ

りました。これは、高度な教育環境を求める方の市内転入を促進できるのではないかと、いうものです。

この質問に対しては、先日、一般社団法人 移住・交流推進機構のウェブサイトで「移住先は教育で選ぶ」という特集が組まれた際に、全国の様々な教育活動の中から、日立理科クラブの取組が選ばれたことなどについて紹介しながら、市の取組について説明し、地方創生における教育の可能性を検討し、その役割を果たしていきたいということを答弁しました。

日立市政クラブの佐藤議員からは、同じく地方創生について質問があり、それぞれの所管分野において、各部の地方創生への意気込みを聞きたいというものでした。

教育委員会としては、まず、学力についてということで、「学ぼうとする意欲」を育むことを大事にしたいということを述べ、次に、科学教育・英語教育について紹介しました。

そして最後に、二極化する学力への対応ということで、どこの学校でも分かりやすい授業を、そして、一人一人が伸びる確かな学びを目指していきたいということを述べました。

「すべては子どもたちのために」を基本とし、日立市での教育、日立市での子育てに関する情報を市内外に向けて効果的に発信していきたいと思えます。

最後に、教育に携わる人たちの思いを述べました。どの子にもキラリと光る「もの」があり、輝く「とき」があります。子どもたちは皆、良くなりたいと思う自分を持っているので、そこを引き出すのが教育委員会の役割だということを答えました。

次に、一般質問についてです。

まずは、ひたち未来の伊藤智毅議員です。

選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられることに伴い、小中学校においても、それに関する取組が必要ではないかというものです。

これに対しては、現在、小中学校で行っている社会科や特別活動などの取組について紹介した上で、体験活動についても、選挙管理委員会などと連携しながら、充実させていきたいということを伝えました。

続いて、民主クラブの白石議員からは、2点の質問がありました。

1点目は、学力向上の推進についてということで、学習指導の取組について質問がありました。

教科担任制、少人数指導については、今後さらに充実させていきたいということや、県にも要望をしていきたいということを伝えました。また、教員の資質向上については、現在の状況を説明した上で、すべての子どもたちにとって分かりやすい授業とするため、教科指導の改善に努めていきたいと述べました。

2点目は、放課後学習室についてということで、市の新たな事業である放課後学習室の具体的な取組について、質問がありました。

これに対しては、これまで行ってきたことを紹介した上で、放課後学習室を行うことにより、小学校高学年から中学3年生までの間断のない学習支援体制が整ったこと、そして、今後はこれをさらに充実させていきたいということを伝えました。

次に、日立市政クラブの蛭田議員からは、学校教育における平和教育についてということで、学校ではどのように平和教育を行っているのかという質問がありました。

これに対しては、教育基本法の第一条「教育の目的」に規定されているとおり、教育は、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を目的としているということを伝えた上で、これからの国際化の中で、どのように取り組んでいくかということについて説明しました。

また、再質問として、国際情勢に合わせた平和教育が必要ではないか、という質問がありましたので、対話によって解決していく力を育てていきたいということを主軸とし、ますます進む国際化の中で、子どもたちが多くの情報を整理して理解し、自分の頭でよく考え、しっかりと話し合っ解決していく力を持ってほしいと考えていることを伝えました。

また、蛭田議員からは、公共施設の利活用についても、2点の質問がありました。

1点目は、スポーツ広場の運用についてということで、現在、占有利用しか認められていないスポーツ広場の自由広場を、広場が利用されていないときに、個人でも利用できるようにした方が良いのではないかと提案がありました。

これに対しては、個人使用によって複数の種目での利用が混在することは、危険であると考えられるため、占有利用としているということを伝えた上で、どのようにすれば利用していただけるかについて、検討していきたいということを伝えました。

2点目は、茨城国体2019を迎えるに当たって、どのように準備を進めているかということや、国体をきっかけに、将来に繋げる取組としてどのような目標を設定しようとしているのかについて、質問がありました。

これに対しては、未来に向けて元気で活力あるまちづくりに繋がる目標を定めたいと考えているということを伝えた上で、今後、国体に向けて人的な配置がされた際に、具体的に検討していきたいということを述べました。

続いて、教育福祉委員会についてです。

現地調査2件、議案1件、報告2件について審議していただき、全ての議案が可決されました。

- 委員** 佐藤議員の代表質問に対する答弁の中で、各校で平均程度の学力の子どもが減り、全国的に上位層と下位層に二極化する傾向があるということを述べられていますが、日立市における二極化の状況はどのようになっていますか。
- 指導課長** 全国学力・学習状況調査の結果から、日立市においても、二極化の傾向はあると考えています。
- 委員** 新聞には、経済格差が学力の二極化につながっているという記事が載っています。  
日立市においては、二極化の原因はどこにあると考えていますか。
- 指導課長** 家庭の経済力が、直接学力に影響しているという根拠は把握していません。  
ただし、そういった懸念があるということを踏まえて、学びたいのに学ぶ場がない子どもたちに対し、地域の協力を得ながら、放課後などに学ぶ場を提供する事業に取り組んでいます。  
また、家計が苦しい保護者に対しては、学校教材の費用負担を軽減しています。
- 委員** 各学校でも、二極化の傾向にあるということは十分に把握しているものと思いますし、それに関する対策についても、非常に努力されているのだらうと思います。  
各学校で講じている対策について、学校同士が情報交換できるような機会はあるのでしょうか。
- 指導課長** 教員の自主研究として、国語、算数・数学を中心に、それぞれの学校が力を入れているものについてまとめ、主任レベルで集まり研修を行う際の題材としたり、学校のホームページに掲載したりしています。  
また、県のプロジェクト訪問などの際に、授業を公開して、授業の研究、協議等を行っています。  
それから、それぞれの職層ごとに集まって、各学校の取組について共有する機会もあります。
- 教育研究所長** 教育研究所では、今年度の教育課題調査研究事業のテーマとして、二極化する学力への対応ということで、積み重ねの学習である算数・数学科において、これまでの優れた教育実践を整理し、どの子ども分かる楽しい授業のためのハンドブックとしてまとめること

を進めています。

作成したハンドブックは、今年度末に各小中学校に配布し、各校での授業研究、特に、お互いの授業を見ながら意見を述べ合う材料として活用することで、より授業研究が盛んになることを目指します。

**委員** 選挙に関する教育についてですが、子どもたちにとって一番身近な選挙は、児童会の選挙や生徒会の選挙だと思います。

今の学校では、立候補者が演説などをした上で投票するというように、いわゆる選挙活動は行っているのでしょうか。

**指導課長** 現在は、小学校では児童会の選挙を行っていませんが、中学校では半分程度の学校で、立候補をし、演説をし、投票を行うといった生徒会の選挙を実施しています。

その際に、選挙管理委員会から、物品を借りたり、出前授業を受けたりしています。

## (2) 第6次行財政改革の推進状況（平成27年3月31日現在）について

**委員長** それでは次に、その他(2)について、総務課長から説明をお願いします。

**総務課長** 第6次行財政改革の推進状況について、報告します。

まず、「平成26年度における推進事項の取組状況」です。

第6次計画に掲げた推進事項81件の取組状況は、「完了後継続」が10件、「完了」が4件、「取組中」が65件、「検討中」が2件となっています。

「完了後継続」は、取組が完了し引き続き継続するものですが、この10件と「完了」の4件を合わせると14件となり、平成25年度から比べると、11件増加しています。

「取組中」は65件で、全体の約8割を占めていますが、今後完了に向けて取組を進めていきます。

「検討中」は調査検討段階にあるもので、2件となりますが、平成25年度比で8件減少しており、具体的な取組へと進捗が図られるよう、推進していきます。

市全体的に、計画期間の2年を経過して推進が図られています。

次に、「数値目標等の達成状況」については、22件の推進事項について取組目標を数値化し、その状況を示したものです。

教育委員会所管部分としては、「視聴覚センターの機能向上」と「教員研修事業の見直し」があります。

「視聴覚センターの機能向上」について、平成26年度は、主催上映会等鑑賞人数の目標値である12,800人を下回りましたので、今後さらに推進していきます。

「教員研修事業の見直し」についても、研修参加率の目標値である52%を若干下回っています。

続いて、「財源確保額等の状況」です。

市全体としては、財源確保額が2,691万6千円、経費削減額が2億5,366万2千円となります。

このうち、教育委員会関係の財源額保額は、約260万円、経費削減額は、約1億7,600万円となっています。

今後は、社会経済情勢の変化に適応できる行財政基盤の確立を目指して、取り組んでいきます。

続いて、教育委員会所管の推進事項の取組状況について、個別に報告します。

まず、9番の「学校教育における地域人材の活用」です。

地域人材を紹介できる団体との連携を図りながら、学校の新しいニーズを把握し、そのニーズに沿った地域人材の確保に努めるとともに、学校が地域人材を活用しやすいように適確な情報提供をしていくというものです。

平成26年度は、学校ニーズの把握等のための調査結果をもとに、地域人材の活用の拡大を図りました。

具体的な活用事例については、日立市地域医療協議会との連携による助産師、医師等による「いのちの教育」のほか、新たに、「日立市体育協会との連携による水泳学習」などを行ってきました。

引き続き、学校のニーズに沿った地域人材を確保できるように、関係機関との調整を進めながら、適確な情報提供をしていきたいと考えています。

次に、17番の「家庭教育事業の充実」です。

現在、非常勤の家庭教育サポーター4名を配置し、未就学児の親を対象に、交流センターなどの身近な場所に出向き、家庭での子どもへの接し方や、子どもの自己肯定感を伸ばすためのアドバイス、また、個別の相談への対応などを行っております。

参加者からは、「不安の解消につながった」「身近なところで交流ができてとてもうれしい」との声をたくさんいただいているところ です。

平成26年度は、子ども子育て支援新制度による事業計画「ひたち子どもプラン2015」の中で、「地域の中での子育て家庭に対する支援事業」として位置付けるとともに、市へ譲渡予定の旧日立家庭教育センターを活用する「(仮称)ひたち子どもセンター」内での新たな展開について検討してきました。

今年度は、センターを拠点として、市長部局の子ども福祉課で実

施している「子育て広場」などの事業と連携を図り、気軽に子育て中の親子が訪れ、親子や親同士が交流できるような場の提供や、啓発講座の実施など、教育、保健、福祉の多角的な視点に立ち、より質の高い事業展開となるよう、関係課所と連携し、事業の方向性について整理をしたいと考えています。

次に、18番の「発達障害児等への特別支援体制の充実」です。

発達障害等で特別な支援を要する幼児・児童・生徒とその保護者に対し、こども発達相談センターを中心に相談や支援に当たっていますが、更なる支援体制の充実に取り組むものです。

発達障害は、就学前のできるだけ早期に発見し、対処することが、症状の軽減につながりますので、引き続き、発見・相談窓口との連携強化、総合的な支援体制の整備を進めていきます。

次に、34番の「学校への財務会計システムの導入」です。

昨年度から、市の財務会計システムの変更に合わせて、学校にも財務会計システムを導入し、学校における予算執行に係る伝票処理と差引簿管理等において、効率化と適正化が図られています。

次に、54番の「スポーツ広場等の在り方の検討」です。

平成26年度の取組としては、施設の現状や課題を整理し、施設ごとの今後の方向性について検討しました。

また、スポーツ施設への指定管理者制度の導入について検討を進め、滑川市民広場を総合型地域スポーツクラブに新たに指定しました。

次に、58番の「図書館の館外サービスの見直し」です。

館外サービスとして、移動図書館車の運行、交流センターへの配本、団体貸出しを実施していますが、より効果的で、市民ニーズに対応した館外サービスの検討と導入を進めるものです。

平成26年度は、館外サービスの向上を目指し、交流センター図書室や施設文庫等の有効活用方策、ブックステーション設置などについて、他都市における特徴ある館外サービスの実施状況調査等を参考にしながら、実施内容の検討を行いました。

今年度は、交流センター図書室等への配本の充実など、移動図書館利用者の声などを参考にしながら、関係課と連携して公共施設の有効活用の推進等に取り組んでいきます。

次に、59番の「視聴覚センターの機能向上」です。

視聴覚センターでは、上映会、イベント、研修会等の効果的な実施、教材等の効果的整備、また、映像作品等の発表の機会と場の提供など、機能向上に努めておりますが、その一つとして、上映会の効果的な実施による鑑賞者数の増加に努めてきました。

シビックセンターへの移転後、上映会「ひたちシネマ」が定着しつつある状況の中で、さらに来場者のニーズに合わせた上映方法、形態等の見直しを図りながら事業を展開しています。

しかしながら、平成26年度は、鑑賞者数9,806人と、年間目標値のおよそ77%となっています。

館内上映会1回当たりの平均鑑賞者数は、平成25年度までとほぼ同数ですが、学校での上映会について、全校視聴での上映会ではなく、学年単位での開催等が増加したことから、合計の鑑賞人数が減少したと考えています。

今後さらに検討を重ね、利用者のニーズに応えられる事業展開を目指すとともに、シビックセンター及び関係機関との協働により、来館者の増加につながるよう努力します。

次に、65番の「学校施設の耐震化推進」です。

学校施設の耐震化については、大規模改造を予定していた小・中・特別支援学校25校の校舎を対象に、平成24年度からの3か年で完了させることを目途に進めてきました。

平成26年度末には予定どおり完了し、また、油縄子小学校校舎の大規模改造及び改築事業も完了したことから、学校施設の耐震化率は約88%に向上しました。

次に、69番の「出資法人等の経営健全化促進」です。

教育委員会が所管する日立市体育協会の平成26年度の取組としては、問題意識の共有及び経営上・施設管理運営上の課題について、経費削減や人材育成、市民サービスなどの観点から、対応方針、具体的な方策について検討を進めたところです。

今年度は、池の川さくらアリーナの完成を見据え、市民運動公園のより効率的な施設管理運営方法やスポーツの推進、市民サービスの向上に向け、具体的な運営体制、行動計画などを検討していきます。

次に、73番の「学校給食共同調理場の運営体制の見直し」です。

平成26年度の取組としては、保護者、学校関係、職員組合等との調整を図り、平成27年度から南高野調理場の調理業務の一部を民間委託することを決定し、準備を進めてきました。

この委託に伴い、今年度4月からは、正規職員の調理員を宮田調理場に配置替えしております。

今年度は、調理業務の民間委託について、その効果等を検証していきます。

最後に、80番の「教員研修事業の見直し」です。

教員一人一人の資質向上のために行っている教員研修事業を再構築する取組です。

ライフステージに応じたコースや受講期間を設定して、より参加しやすい研修を企画しました。

特に、若手の教職員が参加しやすいように、土日や退勤後の研修も実施しています。

日立市教育研究会と調整し、共同開催するなど、引き続き、研修

の件数や内容を見直し、参加率の向上に向けた取り組みを行っていきます。

### (3) 日立市公共施設マネジメント基本方針（分野別編）について

**委員長** それでは次に、その他（3）について、総務課長から説明をお願いします。

**総務課長** 日立市公共施設マネジメント基本方針（分野別編）について、説明します。

まず、策定経過についてです。

平成26年4月に検討委員会を設け、庁内検討を重ね、行財政改革推進会議からの意見聴取、市民意見の募集等を経て、今年3月に基本方針の分野別編を決定しました。

次に、公共施設分野ごとの今後の在り方や管理の考え方、マネジメントの推進体制などをまとめた「日立市公共施設マネジメント基本方針（分野別編）の概要」についてです。

1 ページ目は、マネジメントを進めていく必要性などを分かりやすく解説しています。

上段の「公共施設マネジメントとは？」の部分で、公共施設マネジメントを推進する背景と取組の進め方を示し、中段では、公共施設を取り巻く厳しい状況とそれに対する課題を4つの視点でまとめています。

また下段の「どうするの？」の部分では、これを受けて市としてどのように対応していくべきなのかについて、基本的な考えを記載しています。

2 ページでは、上段の青色の部分で、平成25年度に策定した公共施設マネジメントの全体方針に当たる「基本方針」から、基本理念や総量の削減目標、取組の三本柱を改めて説明しています。下段部分は、今回策定した基本方針（分野別編）の紹介になります。

分野別編は大きく「公共施設分野別のマネジメント方針」と「マネジメント推進のために」の二つで構成されています。

「公共施設分野別のマネジメント方針」では、公共施設をハコモノとインフラ・プラントに分け、それぞれの施設分野ごとに、今後の在り方や管理の考え方をまとめ、「マネジメント推進のために」では、「施設の維持管理方針」として、公共施設を適切に維持管理していくための考え方を、「マネジメント推進方針」として全庁的な推進体制や財源確保などをそれぞれまとめています。

3 ページからは、公共施設分野別のマネジメント方針として、分野別方針をダイジェストで紹介しています。

ハコモノ施設と、ハコモノ以外のインフラ・プラント、すなわち、道路附属施設、橋りょう、公園、プラントや上下水道施設等について、それぞれの分野別施設の延べ床面積や老朽化の状況を示しながら、基本方針期間である平成52年度までのマネジメント方針を一覧表にまとめています。

7ページの「マネジメント推進のために」です。

効率的かつ効果的な管理運営に努めながら持続可能な公共施設マネジメントを推進していくために、「施設を維持管理するための方針」として大きく4つの方針を記載しています。

また、8ページでは、「マネジメントを推進するための方針」として、大きく5つの方針をまとめています。

この概要版は、本編と共に支所や交流センターなどに配備するとともに、各種説明会等で活用することとしています。

続いて、平成27年度公共施設マネジメントの取組についてです。

まず、推進体制としては、従前の公共施設在り方検討委員会を発展的に改組して、新たに公共施設マネジメント推進会議を設置し、マネジメント全体の推進や進捗管理を図ります。

次に、取組内容ですが、分野別方針を具体化していくための行動計画の策定と、公共施設等総合管理基金を活用したマネジメント事業の推進に取り組みます。

今後は、推進会議で検討を重ね、3月の計画決定に向け取り組んでいきます。

**委員** 先日、日立特別支援学校を訪問しましたが、他の学校に比べ、児童生徒数の割に施設が狭いと感じました。

説明いただいた計画とは別に、そういった課題もあるということ把握していただければと思います。

**教育長** 数年前から、特別支援学校の児童生徒数が増えており、当初の想定人数を上回っている状況です。このことについては、課題意識を持っています。

ここ数年、耐震化と合わせて、出入り口の自動ドア化、外壁の塗装などを行ってきましたが、施設の規模に限界を感じていますので、今後、様々な形で改善できるように検討していきます。

#### (4) 平成26年度審議会等の開催状況について

**委員長** それでは次に、その他(4)について、総務課長から説明をお願いします。

**総務課長** 教育委員会が設置している10の審議会、協議会等について、平成26年度の開催状況を報告します。

日立市奨学生選考委員会は、昨年度1回開催し、平成27年度日立市奨学生の選考について、審議しました。

日立市立小中学校学区審議会は、日立市立小中学校の学区に関する事項を審議する機関です。昨年度は、諮問事項がなかったため未開催でした。

日立市心身障害児就学指導委員会は、昨年度6回開催し、小学校入学予定のうち障害があると思われる者の就学先や、小・中学校に在籍している児童生徒の教育措置の変更等について、審議しました。

日立市社会教育委員会議は、昨年度4回開催し、子どもの体験活動に関するアンケート調査などについて、審議しました。

日立市いじめ調査委員会は、昨年度定めた日立市いじめ防止基本方針を踏まえ、設置されたものです。昨年度の開催は2回で、学校におけるいじめ問題への取組紹介等を行いました。

日立市文化財保護審議会については、指定文化財候補の選定ということで、下孫停車場記念碑、水漏舎小学校跡を指定文化財に指定することについて、諮問しました。昨年度の開催回数は3回です。

日立市郷土博物館協議会は、昨年度2回開催し、平成26年度の事業計画、事業報告を行いました。

日立市立図書館協議会は、昨年度2回開催し、平成25年度の業務報告、館外サービスの見直し、多賀図書館耐震補強工事、南部図書館の外構補修工事について、協議・報告しました。

日立市視聴覚センター運営委員会は、昨年度2回開催し、平成26年度の事業計画、事業報告を行いました。

日立市学校給食共同調理場運営審議会は、学校給食共同調理場の調理業務等の民間活力導入についてなど、南高野調理場の民間委託に向け、つくば市の給食センターの視察等を行いながら、審議を行いました。また、学校給食共同調理場の適正配置について諮問し、答申をいただくなど、昨年度は6回の会議を開催しました。

**委員** 各審議会等の課題や必要性について、それぞれ簡単に説明をお願いします。

**総務課長** 日立市奨学生選考委員会については、奨学生の選定を適切に行うに当たり、外部の意見を聞くという意味で、必要性を感じています。

**学務課長** 日立市立小中学校学区審議会は、近年、地区からの開催要望が特にありませんので、開催されていません。最後に開催されたのは平

成16年度で、その際には、旭ヶ丘団地住民から学区の変更について要望がありましたので、審議しました。

日立市心身障害児就学指導委員会は、年々対象児童生徒数が増えていまして、昨年度は388名の児童生徒が対象となりました。委員の方には、学校に訪問して相談にのっていただいておりますが、現在の委員数に課題を感じています。

**生涯学習課** 日立市社会教育委員会議は、各種の社会教育分野の方で構成されています。一つのテーマについて、様々な切り口から意見をいただけますので、必要な会議であると考えています。

**指導課長** 日立市いじめ調査委員会では、学校のいじめの問題について、様々な観点から御意見をいただけるとともに、学校の様子について関係機関に報告することもできますので、必要性を感じています。

**博物館課長** 日立市文化財保護審議会は、法律に基づいて設置している審議会です。市の指定文化財を指定するに当たり、重要な役割を占めていることから、必要であると考えています。

また、日立市郷土博物館協議会は、博物館の運営について、市民の方々から意見をいただくことができるので、必要であると考えています。

**記念図書館長**  
**(視聴覚センター所長)** 日立市立図書館協議会は、図書館の運営について、学校との連携を含め、御意見をいただいておりますので、必要であると考えています。

日立市視聴覚センター運営委員会では、視聴覚センターが教育会館からシビックセンターに移転する際にも、様々な御意見をいただいております。また、最近の会議の中では、「視聴覚」センターであるのだから、映画会ばかりではなく、音楽会なども開催してみてもどうか、というような意見等、貴重な御意見をいただいておりますので、今後の視聴覚センターの運営に関して、必要な会議と考えています。

**宮田調理場長** 日立市学校給食共同調理場運営審議会は、昨年度、懸案事項であった調理業務の委託や調理場の適正配置について、方向付けをしていただきました。これを受け、南高野調理場の委託と用地取得を進めることができましたので、大変有効な審議会であると考えています。

**委員** なぜこういった質問をしたかという、私もいろいろな審議会の委員となったことがあります。課題が絞られていない会議が多く

ありました。

教育委員会が開く会議では、現状と課題を明確にして、必要な会議だったと思えるような形で開催していただきたいと思います。

#### (5) 夏季休業期間中の教育委員会等行事について

**委員長** それでは次に、その他(5)について、総務課長から説明をお願いします。

**総務課長** 学校の夏季休業期間中に教育委員会等が行う行事について、課所ごとにまとめたものと、日付ごとにまとめたものをお示しします。  
夏季休業期間中は、行事が多数ありますので、時間が許す限り、足を運んでいただければと思います。

#### (6) 学校施設整備事業について

**委員長** それでは次に、その他(6)について、学校施設課長から説明をお願いします。

**学校施設課長** 学校施設整備事業について、説明します。  
まず、校舎・屋内運動場の耐震化についてです。  
平成27年4月1日現在の全国の学校施設の耐震化状況について、6月2日に文部科学省から公表されたことを踏まえ、当市の学校施設の耐震状況について報告します。  
まず、校舎の耐震状況についてですが、東日本大震災を契機に、急ぎ学校施設の耐震化を完了させるため、それまでの改築又は大規模改造による耐震化から、耐震補強のみを先行させることに方針を変えまして、平成24年度からの3か年で、小・中・特別支援学校25校の大規模改造工事を予定していた校舎を対象に、耐震補強のみを実施してきたところです。これについては、予定どおり昨年度末までに完了させることができました。  
次に、屋内運動場については、避難所になることから、平成20年度、21年度に集中して実施しました。その結果、配置等に課題のある久慈小学校、十王中学校、坂本中学校を除き、耐震化は完了しています。  
これらの結果、昨年度末に改築した油縄後小学校を含め、耐震化率は約88%となっています。平成23年度末の耐震化率は47%でしたので、3年間で大幅に改善することができたと考えています。  
続いて、非構造部材の耐震化についてです。

これについても、東日本大震災を契機として、文部科学省から、平成27年度末までに避難所となる屋内運動場の安全対策を講じるとの方針が示されていることから、当市においては、平成25年度から屋内運動場及び柔剣道場の天井や照明器具等の落下防止の工事を進め、今年度末には完了する予定です。

次に、今後の学校施設整備についてです。

まずは、校舎や屋内運動場の耐震化を完了させることを考えています。耐震化未了の施設については、老朽対策も必要であることから、改築により耐震化を図るという計画です。そのため、これまでより耐震化率を高めるスピードは遅くなりますが、着実に耐震化を図っていきます。

次の長寿命化については、老朽化した施設をリニューアルし、延命化を図る事業で、耐震化のみを先行して進めてきた校舎が主な対象となります。この事業は、改築事業完了後に進めることを基本としていることから、相当な長い期間を要するものと考えています。

このようなことから、個別課題に対応する必要があり、改築等を行った校舎と、行っていない校舎の格差を解消する一環として、トイレの改修を計画しているところです。

なお、トイレ改修の実施については、将来、大規模改修を行う計画がある学校もあることから、一部の子どもたちが最も使用するトイレを対象として改修していきたいと考えています。今年度は、田尻小学校と久慈中学校の工事を行う予定です。

**委員** 学校訪問をしていると、新しい校舎と古い校舎の格差が大きいと感じます。

少なくともトイレの改修については、できるだけ早く行っていただければと思います。計画では、何年ほどで改修が完了する予定ですか。

**学校施設課長** 大規模改造を予定している校舎と、耐震補強のみを実施した校舎が対象になりますが、4年間のうちに完了することを目途に進めていきたいと考えています。

**委員** ぜひ、予算の確保に努めていただいて、1年でも早く進めていただければと思います。

#### (7) 第58回桐生市臨海子ども会について

**委員長** それでは次に、その他(7)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長

第58回桐生市臨海子ども会について、説明します。

この事業は、子どもの健康増進及び健全な子ども会の発展に寄与することを目的として、桐生市、桐生市教育委員会及び桐生市子ども会育成団体連絡協議会の主催により、開催されるものです。

開催場所は河原子海水浴場で、昨年度から南浜で実施されています。

開設期間は、平成27年7月24日、金曜日から7月28日、火曜日までの5日間で、2団編成により、1団あたり2泊3日を予定しています。

対象者は、桐生市の小学校3年生以上の子ども会会員及び育成会会員となっています。

6月19日現在の参加人数は、1団が236人、2団が218人、合計454人と、昨年度よりも増加している状況です。

行事等についてですが、今回から、河原子小学校体育館で歓迎式典を行うこととなりました。子どもたちは、日中は海水浴、夜は河原子学区の子どもたちと交流をしながら、キャンプファイア一等のレクリエーションを実施します。

なお、臨海子ども会は、昭和33年からスタートしましたが、これをきっかけに、昭和40年に桐生市と日立市の親善都市の提携が締結されたという経緯があります。今年で締結後50年を迎えることから、歓迎式典終了後、臨海子ども会とは別に、久慈サンピア日立で記念式典及び祝賀会が開催される予定です。

委員

日立市の子ども会も、桐生市に行っていますね。

生涯学習課長

8月の桐生市のお祭りに合わせて、桐生市に行きます。

委員

日立市の子どもたちは、海水浴をしているのでしょうか。

実はあまりしていないのではないかと思いますので、日立市の子どもたちにも、臨海子ども会のように海水浴ができる機会があればいいと思います。

委員

私も、夏場は駐車料金も高く、歩くには子どもには遠い距離なので、なかなか連れて行く機会がありません。

生涯学習課長

子ども会は、夏休み中にいろいろな行事を行っていますので、地区によっては海水浴を行っているところもあるかと思います。

実態を調査して、結果を報告したいと思います。

教育長

日立市の子どもたちは、あまり海に入ろうとしないようです。

先ほどの御提案は、非常に良いものだと思いますので、まずは、子ども会の行事を把握した上で、実施について検討したいと思います。

実は、市内の海水浴場の客数について、いまだに震災前の2割程度にしか回復していません。しかし、実際には行きたいと思っている人たちがいるということを、改めて、市の産業経済部などにも伝えたいと思います。

#### (8) 学校プール開放事業について

**委員長** それでは次に、その他(8)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

**スポーツ振興課長** 学校プール開放事業について、説明します。

この事業は、かねさわ市民プールの廃止を契機として、公共プールが設置されていない多賀地区において、小学校プールを開放するものです。

平成24年度から実施し、今年で4年目となります。

実施校及び実施期間についてです。

今回は、塙山小学校と大沼小学校の2校で実施します。

塙山小学校については、塙山総合型地域スポーツクラブの協力をいただき、7月21日から8月10日までの間、開放します。

大沼小学校については、管理を民間の業者に委託し、7月21日から27日までの間、開放することとなります。

なお、いずれの学校でも土日を除きます。

対象者は、市内小学校に通う小学1年生から小学6年生までで、多賀地区の小学校8校の児童にチラシを配布し、周知していきたいと考えています。

#### (9) 第86回都市対抗野球大会について

**委員長** それでは次に、その他(9)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

**スポーツ振興課長** 第86回都市対抗野球大会について、報告します。

6月に開催された都市対抗野球大会の北関東大会において、日立市代表の日立製作所が、2年ぶり34回目の本大会出場を決めました。

1回戦は、7月23日、木曜日の午後6時から、長野市の信越硬式野球クラブと対戦します。

また、本大会に向けた壮行会を、7月7日、火曜日の午後6時から午後7時まで、日立シビックセンターアトリウムで開催し、市旗授与、目録・花束贈呈等を行います。

また、本大会には、代表チーム・都市キャラクターとして、かみね動物園マスコットキャラクター「かみねっちょ」、いきいき茨城ゆめ国体マスコットキャラクター「いばラッキー」が、1回戦の始球式アテンド、キャラクター撮影会、日立製作所の応援に参加します。

なお、都市対抗野球については、視聴覚センターでパブリックビューイングを実施します。詳細については、視聴覚センター所長から説明します。

#### 視聴覚センター所長

都市対抗野球大会の1回戦、長野市の信越硬式野球クラブとの試合について、日立シビックセンター地下1階の視聴覚センター映像セミナー室を中心として、「みんな一緒に応援しよう！パブリックビューイング」と題し、株式会社JWAYと、シビックセンター1階レストランのカフェバンドゥの協力を得て、パブリックビューイングを実施します。

一昨年、日立製作所が都市対抗野球大会に出場した際にパブリックビューイングを行ったときには、参加者数が約80名でしたので、今年も多くの方に来ていただければと考えています。

### (10) 夏季休業期間中の学力支援について

#### 委員長

それでは次に、その他(10)について、指導課長から説明をお願いします。

#### 指導課長

子どもたちに対して学びの場を提供し、また、学習のつまずきを解消し学習意欲を向上させるため、夏季休業期間中に実施している各事業について、説明します。

まず、学校の外で自由に参加できるものとして、記念図書館と多賀図書館で行われる「夏休み学習室」についてです。

8月3日から7日までの1週間、日立市の退職校長会により実施されるもので、今年で9年目となります。

また、「STEPクラブ」、「夏休み理科自由研究相談会」、日立理科クラブとタイアップした事業である「理数アカデミー」も開催されます。

次に、学校で課外授業として行われる事業についてです。

小学校4年生、5年生に対しては、県の事業である「学びの広場」を実施します。

算数の計算問題を中心に、基本的に全児童を対象としたもので、教員に加えサポーターが付き、補充学習を行います。

なお、市内25校の小学校のうち10校程度については、自主的に6年生までを対象としています。

小学校6年生に対しては、新規事業である土曜放課後学習室を実施します。

今年は、滑川小学校と田尻小学校の2校で実施しますが、田尻小学校では、6月27日に既に1回目の学習室を実施し、多くの児童が参加しています。

また、中学校1年生、2年生に対しても、県の事業である「学びの広場」が新たに実施されます。

これについては、小学校で実施する「学びの広場」と同様に、全生徒を対象とし、サポーターにも付いていただき、数学の基本的な内容を中心とした補充学習を行います。

なお、小学校に比べ、サポーターの配置を希望する学校が少なく、現在のところ、十王、豊浦、滑川、泉丘、坂本の5校のみが希望しています。

最後に、中学校3年生に対しては、市の新規事業である「放課後学習室」を実施します。

希望者に対し、主要5教科の補習学習をするもので、支援員としてサポーターを配置します。

多くの学校では、夏休みの午前中3時間、3日から4日程度実施し、2学期以降は、平日の放課後1時間実施することとしています。

**委員** 小学校高学年から中学校にかけて、夏休みの宿題の量が多く、働く親が宿題の手伝いをしようとする、夏休み中に家族でなかなか出かけられないのではないかと思います。

**指導課長** 各学校には、夏休みの宿題を精査するように伝えたいと思います。

なお、学校では宿題の相談も受けていますし、学校外でも、地域のボランティアの方の協力を得ながら、理科・社会の自由研究の相談会を行っていますので、それらを活用していただく方法もあります。

各学校では、相談員となる教員を夏休みのしおりに載せるなどして周知していると思いますし、理科室などの教室も開放しています。

学校外の相談場所についても、チラシを作成して配布しています。

**委員** 大みかの方に、高校の教員OBが行っている、お金を取らない塾

があります。

個人宅で行うといろいろと問題があるということで、交流センターの会議室を借りようとしたそうですが、個人的な利用のためには、交流センターの会議室を貸すことができないと言われたそうです。

その方に、本当にそれでいいのかという相談を受けたのですが、実際にどうなのでしょう。

**教 育 長** その件については、交流センターを管理している担当課から話を聞きましたが、申し込みがあった際に、その場で回答することができなかったということと、基本的には個人的な利用は認めていないため、許可することは難しいかもしれないという話をしたということで、断ったというわけではないようです。

教育委員会としては、今回のケースについてまとめた上で、担当課と協議・検討していきたいと考えています。

誰でも利用できるということにするのは難しいかもしれませんが、どういう団体に対し、どういった場合には貸し出すということを整理していきたいと思います。

**委 員** 宮田学区コミュニティ推進会の会長は、夏休みに交流センターのロビーなどを使って、子どもたちが勉強をしてくれたらいいと考えているようです。

また、他の交流センターでも、交流センターに来た子どもたちに勉強を教えているところもあるのではないかと思います。

コミュニティ推進会に働きかけて、そういったことを行っている交流センターをまとめてみると良いのではないかと思います。

**委 員** 「学びの広場」では、指定された内容、プリント等により勉強するのですか。

**指 導 課 長** 基本的には、基礎的な問題により学習しますが、学力が高い子どもや、基礎的な問題をクリアした子どもたちは、応用問題などにも取り組みます。

#### (11) 寄附（絵画）の受入れについて

**委 員 長** それでは次に、その他（11）について、指導課長から説明をお願いします。

**指 導 課 長** 絵画の寄附を受け入れたことについて、報告します。

洋画家の高橋三郎氏の長女から、高橋三郎氏の絵画14点の寄附をいただきました。

受け入れた絵画は、現在、中小路小学校に保管していますが、今後、市内の各小・中・特別支援学校の希望校が受け入れることとなります。

#### (12) 児童生徒の表彰等について

**委員長** それでは次に、その他(11)について、指導課長から説明をお願いします。

**指導課長** 児童生徒の表彰等について、報告します。

まず、小平記念教育資金については、大久保中学校が、環境教育の部において受賞しました。贈呈式は、平成27年7月1日、水曜日に茨城県庁で行われます。

受賞理由としては、平成18年度から行っている駅前清掃活動等が認められたためです。

**スポーツ振興課長** もう1件、報告があります。

第3回WBSC U-12 ワールドカップについてです。

世界野球ソフトボール連盟による12歳以下の硬式野球のワールドカップにおいて、平沢中学校1年生の廣瀬永貴くんが、日本代表選手として選ばれました。

ポジションは、主に捕手です。

ワールドカップは、平成27年7月24日、金曜日から、8月2日、日曜日まで、台湾の台南で開催されます。

**委員** 日本代表には、全部で何名が選出されているのですか。

**スポーツ振興課長** 18名です。

そのうち、茨城県から選出されたのは、廣瀬くんのみです。

#### (13) 平成27年度学校給食夏休み親子見学会について

**委員長** それでは次に、その他(13)について、宮田調理場長から説明をお願いします。

**宮田調理場長** 平成27年度学校給食夏休み親子見学会について、説明します。

見学会は、児童と保護者を対象に調理場を夏休み期間に開放し、場内見学や模擬体験、食に関する啓発資料の展示等を通して食生活

の在り方や学校給食への理解を深めてもらうため、実施するものです。

宮田調理場は、7月29日、水曜日の午前9時30分から正午まで、十王調理場は、7月30日、木曜日の午前9時から正午まで、南高野調理場は、7月31日、金曜日の午前9時から11時30分まで、それぞれ開催します。

内容については、場内見学及び調理体験、食育コーナーの見学及び体験、クイズ、デザート等の試食などを行います。

対象者は、それぞれの調理場管内の小学生と保護者で、宮田調理場は小学校を指定しており、南高野調理場のみ中学生も対象とします。

募集人数は、十王調理場のみ約100人と制限していますが、それ以外の調理場については、人数制限はありません。

昨年度の参加人数については、宮田調理場が268人、十王調理場が144人、南高野調理場が617人でした。

**委員** 南高野調理場は、今年の4月から民間委託されましたが、特に問題はありますか。

**宮田調理場長** 当初は、不慣れなところもあり、調理業務に多少の遅れがあったと聞いていますが、現在は、特に遅れは生じていません。

給食の味についても、月に1回、学校の給食主任の方に集まっていたいただいて、献立の検討会議を行っていますが、特に問題なく、おいしい給食を提供できているとのことでした。

今年度は、南高野調理場の民間委託による効果について、十分に検証をしていきたいと思えます。

#### (14) その他

**委員長** それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

**記念図書館長** 多賀図書館耐震補強工事の竣工について、報告します。

多賀図書館の耐震強度が不足していたため、昨年12月から耐震補強工事を実施してきました。東京オリンピック関連施設等の建設の影響により、部材の調達等に時間を要していたため、年度を繰り越して工事を実施していましたが、6月26日に完了検査を終え、工事が完了したところです。

また、工事中、駐車場がある北側の入り口を封鎖していたため、利用者に不便をかけていたところですが、無事、工事が完了したことにより、通常どおり利用できるようになりました。

**指 導 課 長** 今年度の市内の指定校等について、報告します。  
まず、茨城県の学力向上推進プロジェクトに関わるプロジェクトチーム訪問計画についてです。  
国語については、助川中学校と滑川小学校が対象となります。  
算数・数学については、田尻小学校、塙山小学校、滑川中学校、日高中学校が対象となります。  
次に、平成27年度ブラッシュアップ研修についてです。  
国語の重点校として大久保小学校が、算数の重点校として成沢小学校、協力校として河原子小学校が、それぞれ指定されています。  
また、日本銀行から指定された駒王中学校が、今年と来年の2年間、金融教育に取り組んでいます。  
それから、茨城県の学校給食研究推進校として、日高小学校が指定されています。  
また、金沢小学校が、小学校教科担任制モデル校として取り組んでいます。

#### (15) 次回の教育委員会の日程について

**委 員 長** それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

**総 務 課 長** 平成27年7月28日、火曜日に、日立市教育プラザで午後3時から開会予定です。

**5 閉 会** 午後4時55分

**委 員 長** それでは、以上をもちまして、教育委員会6月定例会を終了いたします。